



解 答 (1)  $2^3$                       (2)  $3 \times 5$                       (3)  $2^2 \times 3^2$                       (4)  $2 \times 3 \times 17$

**2** 累積度数 (2019 年度, 2020 年度に学習します。)

(1) 度数分布表において, 小さい方からある階級までの度数の総和を **累積度数** という。

(2) ある階級の累積相対度数 =  $\frac{\text{その階級の累積度数}}{\text{総度数}}$  で求める。

累積相対度数は, ふつう小数で表す。

**例題 2** 累積度数

次の表は, ある中学校の 1 年生女子 50 人のハンドボール投げの記録を調べ, その結果を度数分布表にまとめたものである。

累積度数と累積相対度数を求め, 表に書き入れなさい。

階級 (m)	度数 (人)	相対度数	累積度数 (人)	累積相対度数
以上 未満				
10~12	4	0.08		
12~14	10	0.2		
14~16	16	0.32		
16~18	13	0.26		
18~20	7	0.14		
計	50	1.00		

コーチ 累積度数とは, 小さい方からある階級までの度数の総和のことである。

(ある階級の累積相対度数) =  $\frac{\text{(その階級の累積度数)}}{\text{(総度数)}}$  で求める。

累積相対度数は, ふつう小数で表す。

解 答 累積度数 (上から順に) 4, 14, 30, 43, 50

累積相対度数 (上から順に) 0.08, 0.28, 0.60, 0.86, 1.00

**問題 2** 次の表は、ある中学校の2年生50人について、一日にテレビを見る時間について調べ、その結果を度数分布表にまとめたものである。累積度数と累積相対度数を求め、表に書き入れなさい。

階級 (分)	度数 (人)	相対度数	累積度数 (人)	累積相対度数
以上 未満 30～60	8	0.16		
60～90	11	0.22		
90～120	19	0.38		
120～150	7	0.14		
150～180	5	0.1		
計	50	1.00		

**解 答** 累積度数（上から順に）8, 19, 38, 45, 50

累積相対度数（上から順に）0.16, 0.38, 0.76, 0.90, 1.00

**3** 統計的確率（2020年度に学習します。）

●確率の意味

多数回の実験や観察の結果、あることがらの起こる割合がほぼ一定の値に近づくとき、その数値(割合)でそのことがらの起こりやすさを表す。この割合を、そのことがらの起こる**確率**という。

**例題 3** 確率の意味

1枚の硬貨を投げ、裏向きになることの起こりやすさを実験した。次の表の空欄をうめて完成しなさい。また、起こりやすさを数値で表しなさい。

投げた回数	100	200	300	400	500	600	700	800	900	1000
裏向きの回数	59	110	173	231	283	325	370	411	459	503
裏向きの割合	0.59									

コーチ (裏向きの割合) =  $\frac{\text{(裏向きの回数)}}{\text{(投げた回数)}}$  で求める。起こりやすさを表す数値は、多数回おこなったときの割合で表す。割り切れない場合は四捨五入する。

解答 表… (左から) 0.55, 0.577, 0.578, 0.566, 0.542, 0.529, 0.514,  
0.51, 0.503  
起こりやすさ…0.5

**問題 3** 次のことがらの A, B のうち、どちらが起こりやすいと考えられますか。

- (1) びんの王冠を投げた時、1000 回中 421 回が表向きになった。表向きになることを A, 裏向きになることを B とする。
- (2) ある国では、男子が生まれる相対度数は 0.51, 女子が生まれる相対度数は 0.49 である。男子が生まれることを A, 女子が生まれることを B とする。

解答 (1) B (2) A

- 「誤差や近似値,  $a \times 10^n$  の形の表現」は学習しません。→本書 p. 166~169  
(2019 年度, 2020 年度)